

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度 岐阜県立坂下高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年1月28日(金)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
委員
氷室 茂 本校活性化協議会会長
吉村 俊廣 やさか観光協会会長
加藤 文明 坂下まちづくり協議会会長
村田 純一 坂下公民館長
尾石 光正 坂下中学校長
竹入 康治 坂下小学校長
山内 尚子 同窓会会長
嶋倉 陽子 中津川市社会福祉協議会地域福祉課長
桂川 容子 一般社会法人ロカテナ会員 (charm mates 代表)
吉村千恵子 保護者代表

オブザーバー
森 益基 岐阜県議会議員
成瀬 博明 中津川商工会議所 専務理事
岩久 義和 中津川市教育長
伊藤 恵之 中津川市定住推進部長

学校職員
中村 浩一 校長
田並 千穂 教頭
渡辺 英之 事務長
板津 裕也 教務主任
中田 和寿 生徒指導部長
林 裕子 進路指導部長
林 尚志 地域連携担当

4 会議の概要(協議事項)

- (1) スクール・ポリシー(案)について
- (2) 令和3年度自己評価について

(3) 学校運営協議会の提言に係る取組と課題について

- 意見 1 : スクール・ポリシーの内容にとっても期待している。自己評価の中で、「地元就職率の向上 80%以上」は、市内高校の平均よりずいぶん高く、ありがたく思う。
- 意見 2 : 基礎となる学力向上や ICT の活用、高大連携協定、社会に出ても恥ずかしくない礼儀・礼節の指導、授業改善等が進められていることがわかり、地域社会に貢献できる生徒の育成に努めていると感じる。コロナ禍で、校外での積極的な体験活動の実施は難しかったであろう。来年度の新学科でどのような学びが展開されていくのか期待している。
- 意見 3 : 自己肯定感を高めながら、自分自身も周りも大切にできる生徒が育つための、よいスクール・ポリシーだと思う。
- 意見 4 : 本校に入学して良かったと思っている生徒が 90% 近くいることは素晴らしい。校内の雰囲気や先生方の生徒への関わり方がこのような結果になっている。
- 意見 5 : 出前授業は、中学生に本校の魅力を直接伝えられるよい取組である。来年度、地域探究科でも取り組めるとよい。
- 意見 6 : 第一回目の協議会で議題に上がった「インスタグラムの開設」が実現し、生徒や学校の取組がより伝わりやすくなった。「いいね」がつかなくても見ている人はいる。より多くの人が見る機会なので、特別な行事でなくても日々の様子（学校内の風景、自然、伝統のもの、通学路など）を載せるとよい。
- 意見 7 : スクール・ポリシーは、本校にふさわしく理想的である。卒業後の将来に、地元を愛し住み続けてくれるような人材を育成してほしい。この地域の福祉科希望生徒が少ないことの原因を調査し、少しでも入学希望者が増加するとよい。新入生の数を評価の一つとして検証してみてもどうか。
- 意見 8 : 新たに始まる地域探究科の取組に注目している。
- 意見 9 : コロナの感染が落ち着き、生徒が思うように活動できる社会が一日も早く来ることを祈っている。
- 意見 10 : 来年度、社会福祉協議会と本校福祉科が協力し、福祉について地域に発信する取組の具体案ができており、今から楽しみにしている。まだコロナの影響があるかもしれないが、感染対策の方法を考えながら進めていけるとよい。
- 意見 11 : 本校は昔から地域との関わりが深い学校である。今後も地域の支えや見守りが有り続ける学校であってほしい。駅のトイレ清掃活動はとても良い活動である。コロナ禍でたいへんだとは思いますが、ボランティア活動がまた盛んになってほしい。
- 意見 12 : 最近、本校の新聞記事が多く掲載され、とてもうれしく思う。福祉科は県内でも数少ない学科であるので、積極的な PR を行い、市内外、県外からも入学できるような受け皿づくりをしてほしい。大学等の上級学校や、看護師、保育士、公務員を目指す生徒の育成と、これまでの実績を保護者や中学生に PR することが重要である。

意見 13：坂下高校のブランディングをどのように考えるかが重要である。企業においてもブランディングをする、しないにより差が出る。地元中学生が行きたくなる学校づくり、良い伝統を残しつつ、変えるべき慣習は改革することも必要である。自己有用感を育むボランティアや、地域連携による活性化をテーマに生徒たちに実践させるカリキュラムなど、外部や中学生への売り込みができる取組をするとよい。学力向上、プレゼン能力、データ分析など、卒業後に社会の戦力になれる生徒の育成に期待する。

5 会議のまとめ

- (1) 「スクール・ポリシー」については、委員による承認を得られた。
- (2) 本校の個々に寄り添った丁寧な指導については、多くの委員から高い評価を得られた。来年度開設される新学科に対する委員の期待は高く、地域と一層連携を深めながら、地域社会で活躍する人材育成を進めていく。
- (3) 広報については、出前授業やInstagramの開設など少しずつ広がっているが、来年度も本校の魅力をさらに外部に発信し、「地域探究科」「福祉科」の両科で入学希望者を増やすことが求められる。